

感謝する人は幸せな人です

聖書朗読 詩篇 147:1~5

キリストの平和が、あなたがたの心を支配するようにしなさい。そのためにこそあなたがたも召されて一体となったのです。また、感謝の心を持つ人になりなさい。

コロサイ 3:15

私たちの家は、思い出、勝利、砦、笑い、涙、そして愛の家です。主は常に誠実なお方であり、私は膝まついて感謝します。家には個性があると言いますが、私は、自分の家が私の心に住んでくださっているお方を映し出すものであって欲しいと思っています。すべてのことがなされ、最後のときがきたとき、イエス様だけが唯一の本当に大切なお方です。天国のわが家にたどり着くことが、最終目的なのです。

幸せな家と思うとは、こういうことです。神様からいただいているたくさんの恵みに感謝して、夜、目を閉じたときに心に浮かびます。人生で良かったことを探してみましよう。どんなときでも、感謝すべき良いことがあります。毎日、良い行ないをしましよ。そうすれば、いろいろなことでそれがわが身に帰ってきます。救い主をたたえましよう。イエス様にお頼りしましよ。イエス様は真実のお方、信頼できるお方です。イエス様をお頼りするというシンプルなことで、多くの失敗や心痛を避けることができます。聖書は、あなたに宛てて書かれた神様の愛のお手紙であり、イエス様を信頼することの重要性が強く書かれています。イエス様を信頼し、すべてをお委ねすることが平和への道であり、昨日でもなく、明日でもない、人生の「今」を生きることなのです。

日々の生活を感謝の気持ちでいっぱいにしましよ。なぜなら、感謝する人は幸せな人だからです。

讚美歌 第二篇 82

祈り 親愛なる主よ。日々の生活を感謝します。私たちのすべての歩みをもって、あなたのご栄光を溢れるほどいっぱいたたえることで、日々を送ることを私たちに教えてください。

イエス様の美しい御名において。アーメン。

ジョン・クレイトン

ニューメキシコ州 ポーティルズ

知恵のある者の歩み

聖書朗読 箴言 14:1~7

あなたがたのうちで、知恵のある、賢い人はだれでしょうか。その人は、その知恵にふさわしい柔和な行ないを、良い生き方を示しなさい。 ヤコブ 3:13

知恵とはなんでしょう？ どこからやってくるのでしょうか？ あなたは知恵を持っていますか？ まわりの人たちは、あなたには知恵があると思っていますか？ 箴言には、知恵のすべてについて、見識のある言葉が書かれています。知恵というコインの両面は、しばしばある一つの表現、「賛否両論」「肯定と否定」で言い表すことができます。賢い人が行なうこともあれば、愚かな人が行なうこともあり、それらは並んでいます。あなたはそれらを見比べて、どちらが良いかを選択することができるのです。

知恵について語られている一節を読むと、知恵のある者の歩みは容易に識別され、混同することはありません。知恵は建設的で、知恵に相対するものは破壊的です。知恵の歩みはまっすぐで、知恵に相対するものの歩みは曲がりくねっています。知恵の言葉は助けになり、それに相対するものは人を傷つけます。正直さと嘘つき、洞察力とまがいもの、賢さと愚かさ、両者は相対するものです。

賢い人の人生における知恵のある歩みには疑いがありません。また灰色の影、行ないに対する疑問、立場の不確かさといったものが一切ありません。知恵のある人たちが歩む道はまっすぐで、彼らの目的は否定されません。そして、彼らの知恵についてはどうでしょうか？ その答えはクリスタルのように明らかですよね。さて、あなたは賢い人ですか？ その答えは、あなたの歩みを見ている人に聞いてみましよう。きっと彼らは、その答えを知っていますよ。

讚美歌 第二篇 172

祈り 親愛なる主よ。私の歩みを見るすべての人たちが、あなたをもっとよく知るように、今日、あなたの道における知恵が、私の歩みの中で明らかになりますように。

イエス様の御名において。アーメン。

ベン・メネレス

テキサス州 アマリロ

9月27日(木)

時宜にかなったことば

聖書朗読 箴言 15:20~23

あなたがたのことばが、いつも親切で、塩味のきいたものであるようにしなさい。そうすれば、ひとりひとりに対する答え方がわかります。 コロサイ 4:6

大学でスピーチ専攻に在学していたので、私は人間関係におけるコミュニケーションの重要性に常に興味を持ってきました。卒業後、数年間、幼児教育に携わり、子どもたちが、どのようにして自分の考えを思い浮かべた言葉によって表せるようになるか、その習得方法に大変興味を持ちました。ある少女は強く断定的に言うことが好きで、よく「私がする!」と言っていました。

イエス様は、会われたすべての人のいのちに触れられたように、偉大なるコミュニケーションターです。私たちのために、イエス様は、私たちが造り主に結びつくことを神様に代わって語られました(ヨハネ6:46~47)。イエス様が御父にお導きを求めたり感謝の祈りをささげられたりするとき、私たちが主にお話しするときの良きお手本を学ぶことができます。私たちの救い主は、ニコデモがしたように信仰のある者に向かっただけではなく、姦淫の現場で捕らえられた女のように評判の悪い人たちにも話しかけられ、一人ひとりみんなが聞く必要のあるメッセージを送られました。

私たちは、イエス様がされたように風や波に語りかけることはできないかもしれませんが、励ましの言葉でお互いを支え合うとき、人々の生活の中にある嵐を鎮めることができます。自分が話すことが、みんなへの恵みとなるように最善を尽くしましょう。

讚美歌 第二篇 80

祈り 親愛なる主よ。語りかけるという賜物を感謝します。人々と生活を分かち合うとき、自分の言葉を賢明に選ぶことができますように。

イエス様の御名において。アーメン。

アン・スピンラー

メリーランド州 フレデリック

9月28日(金)

パズル

聖書朗読 箴言 16:16~20

あなたのしようとすることを主にゆだねよ。そうすれば、あなたの計画はゆるがない。 箴言 16:3

私は残りのパズルのピースをいらいらしながら見つめました。絶対に、いくつか足りません。そういえば、このパズルを祖母の家で祖母と一緒にやったことがありました。たぶん、そのとき片づけるときに、いくつかをなくしてしまったに違いありません。

「でも実際、パズルのピースの中のいくつかは、このパズルにもものじゃないように見えるんだもの」と私はぶつぶつ文句を言いました。でも、一つずつ、正しく当てはめていくと、パズルが完成します。

同じように、人生のあるときには、絶望の中でお手上げ状態で諦めたくなくがあります。「絶対に、これは神様が私になさるようなことではないわ!」と叫びたくなります。まったくの災難のように思えたりもします。でも、それを受け入れ、身に起こった試練の中で動き続けていると、すべてがうまく当てはまることわかれるかもしれせん。

神様は、私たちには想像できないことや、時には理解できないことをご計画されたり、意図されたりされます。ですから、いわゆる災難の多くが、恵みにもなり得るのです。

聖歌 500

祈り 親愛なるお父様。あなたの御足に私のすべての明日をおささげします。日々、あなたにより良くお仕えする方法をお示してください。

イエス様の御名において。アーメン。

キャシー・ドーキンズ

アラスカ州 ケチカン

9月29日(土)

沈黙の奉仕

聖書朗読 伝道者の書 3:1~8

黙っているのに時があり、話をするのに時がある。 伝道者の書 3:7

お隣さんが通りを急いで渡って来ました。私たちは特別に親しい仲ではなく、普段は郵便受けで顔を合わせたときに話すくらいです。彼の奥さんは、癌で長い闘病生活を送ったのちに最近亡くなりました。彼女の余命数か月間、彼が勤めていた会社は、彼に退職を勧告していました。それは、彼が予定していたのより数年早いものでした。私には、彼が悲しみていっぱい皿を持っていることがわかりました。ありきたりの挨拶がすむと、彼は今自分が直面している困難について長い時間話しました。彼が去ったあと、私は自分が彼の助けになれたらと思いました。でも、多分、私は彼の助けになったのだと思いました。私たちはまた話す機会があると思いますが、その日、私がすべきことは、彼の話だけを聞くことだったのです。

聖書が、この点についての教えを示していることは、至極もったもなことです。伝道者の書は、黙っているのに時があると私たちに教えてくれています(伝道者の書3:1, 7)。ヤコブの手紙は、聞くに早く、語るにおそくと私たち勧めています(ヤコブ1:19)。箴言は、よく聞かぬうちに返事をするのは愚かであると注意を促しています(箴言18:13)。

沈黙は、少し変わった奉仕のように思えます。しばしば私たちのエゴは私たちに話をするようにさせますが、私たちが尽くすことのできる最大の奉仕が、ただ聞くことにある時もあるのです。

讃美歌 536

祈り 慈しみ深い神様。ただ聞くべき時と話すべき時をわきまえる知恵を与えてください。

イエス様の御名において。アーメン。

ウェイン・エステス

カリフォルニア州 サウザンドオークス

9月30日(日)

神様の御声に向かって歩く

聖書朗読 イザヤ書 50:4~11

朝明けに、私はあなたのために備えをし、見張りをいたします。 詩篇 5:3

何で目を覚ましますか? たいての人は、ある種のアラームのような人工的な音によって、生活に戻されてびっくりします。そして、最初に思うことは? どのような物語に対して、自分の忠誠をささげますか?

私たちはみんな、人生に意味を与えてくれる物語の文脈の中で生きています。そして、あまりに多くの人たちが、俗世間によって押し付けられた物語を求めて目を覚まします。私たちは朝起きて、仕事に出かけます。支払いを済ませたり、お金を貯めようとしていたり。1日のうちに、たとえば食事の前の短い祈りのようなことで、神様を覚えることがあるかもしれませんが、神様は、1日を始めるのにはるかにもっと良い方法を示してくださっています。問題は、私たちが神様の御声を聞くことに自らすすんで集中するかということです。起きたらすぐに、その日1日を神様におささげしようしますか?

目覚まし時計の音を聞いたら、自分の考えを神様に向けてるように練習しましょう。神様のご栄光のために1日をささげるために、自分を起こしましょう。それは大変だったり、難しかったりすることかもしれませんが、でも重要なことです。自分の関心を神様に向け、生活と忠誠をおささげしましょう。そして、神様のお導きの見張りをしましょう。そうすれば、決して失望することはありません。

聖歌 311

祈り 主なる神様。私の人生に向けられたあなたのご計画を覚えるために、早朝に私の耳と心を開いてください。あなたのご存在を常に心にとどめて生活することができますように。

イエス様の御名において、アーメン。

アール・D・ラベンダー

テネシー州 ブレントウッド